
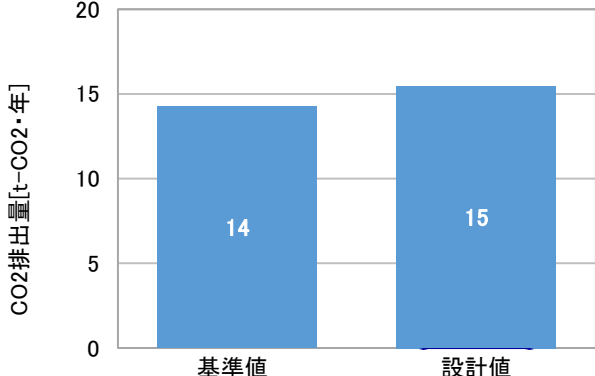


協議完了時
 変更時
 工事完了時

建築物の名称 米山産業(株)本社ビル建替計画新築工事

建物用途 建築物の所在地	分譲集合住宅 東京都千代田区神田佐久間町三丁目26番2、26番5	敷地面積 建築面積 延床面積	156.57 m ² 125.34 m ² 1,022.16 m ² : 計算対象 248.07 m ²
地域 竣工日	和泉橋地域 2022年7月22日	階数 構造、総戸数	地上 10階 地下 - 階 S造 2戸

省CO2効果

<p>削減率</p> <p style="text-align: center; color: red;">-8.3 %</p>	<p>省エネルギー基準</p> <p>基準一次エネルギー消費量 291.3 [GJ/年] 設計一次エネルギー消費量 315.7 [GJ/年] BEI(設計値/基準値) 1.08 共用部の計算 対象</p> <p>CO2排出量</p> <p>基準値 14 [t-CO2・年] 設計値 15 [t-CO2・年] 削減量 -1 [t-CO2・年] 削減率 -8.3 %</p>
<p>省CO2対策の概要</p> <p>Low-E複層ガラスで熱負荷を低減し、高効率エアコン、高効率給湯機の採用により省CO2を図った。</p> 	

省CO2設備手法

- | | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 高効率エアコン | <input checked="" type="checkbox"/> 高効率給湯機 |
| <input type="checkbox"/> 駐車場換気量制御 | <input checked="" type="checkbox"/> 手元止水 |
| <input type="checkbox"/> 機械室換気量制御 | <input checked="" type="checkbox"/> 水優先吐水 |
| <input type="checkbox"/> 全熱交換器 | <input type="checkbox"/> 小流量シャワー |
| <input type="checkbox"/> 自然換気(自動制御) | <input type="checkbox"/> HEMS |
| <input checked="" type="checkbox"/> 高効率電動機 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input checked="" type="checkbox"/> LED照明
(範囲:全て) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 人感センサ
(範囲:玄関) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 明るさセンサ
(範囲:避難階段) | |
| <input type="checkbox"/> スケジュール制御 | |
| <input type="checkbox"/> 初期照度補正 | |

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
- 複層ガラス
- 二重サッシ
- 庇・ルーバー・バルコニー
- 外壁高断熱化

面的エネルギー活用

- エリアエネルギーマネジメントシステム(AEMS)を導入

創エネ手法

- コージェネ
- 太陽光発電
- その他

非常時の対応

- 非常用発電機(法令規制以外)
- その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 下水熱 | <input type="checkbox"/> バイオマス |
| <input type="checkbox"/> 河川水熱 | <input type="checkbox"/> 太陽熱利用 |
| <input type="checkbox"/> 地下鉄排熱 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 地中熱 | |

環境負荷低減の取り組み

- 敷地と建物の被覆対策
- 水循環
- 緑の量・質の確保、生態系への配慮

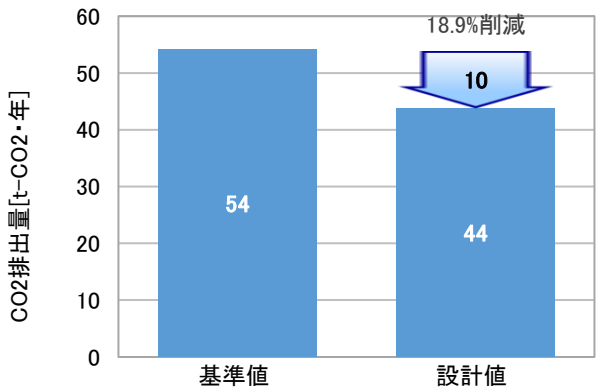
協議完了時
 変更時
 工事完了時

建築物の名称 米山産業(株)本社ビル建替計画新築工事

建物用途 事務所, 物販店舗	敷地面積 156.57 m ²
建築物の所在地 東京都千代田区神田佐久間町三丁目26番2、26番5	建築面積 125.34 m ²
地域 和泉橋地域	延床面積 1,022.16 m ² : 計算対象 774.09 m ²
竣工日 2022年7月22日	階数 地上 10階 地下 - 階
	構造 S造

省CO2効果

削減率 18.9 %	省エネルギー基準 基準一次エネルギー消費量 1,103.5 [GJ/年] 設計一次エネルギー消費量 893.9 [GJ/年] BEI(設計値/基準値) 0.81
	CO2排出量 基準値 54 [t-CO2・年] 設計値 44 [t-CO2・年] 削減量 10 [t-CO2・年] 削減率 18.9 %



省CO2対策の概要

Low-E複層ガラスで熱負荷を低減し、全熱交換器、LED照明、照明制御の採用により省CO2を図った。



省CO2設備手法

- 高効率分散熱源
- 高効率中央熱源
- 高効率空調機(中央熱源)
- 変流量制御(中央熱源)
- 大温度差送水(中央熱源)
- 変風量制御(中央熱源)
- 外気導入量制御
- 外気冷房
- 自然換気(自動制御)
- 全熱交換器
- 高効率電動機
- 変風量制御
- 送風量制御
- LED照明 (範囲: 全て)
- 人感センサ (範囲: 駐輪場、ゴミ置場、トイレ)
- 明るさセンサ (範囲: 外構、エントランス、アプローチ、避難階段)
- スケジュール制御 (範囲: エントランス、アプローチ)
- 初期照度補正
- 高効率給湯機
- 自動給湯栓
- 小流量シャワー
- BEMS
- その他

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
- 複層ガラス
- 庇・ルーバー・バルコニー
- 外壁高断熱化

面的エネルギー活用

- 地域冷暖房を導入
- 地域冷暖房を将来導入
- 既存地域冷暖房から受入
- サブプラントを設置
- 特定電気事業者等を導入
- 特定電気事業者等を将来導入
- 特定電気事業者等を受入
- 熱融通
- 電力融通
- 面的対策その他
- エリアエネルギーマネジメントシステム(AEMS)を導入

創エネ手法

- コージェネ
- 太陽光発電
- その他

非常時の対応

- 非常用発電機(消防設備用以外)
- その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- 下水熱
- 河川水熱
- 地下鉄排熱
- 地中熱
- バイオマス
- 太陽熱利用
- その他

環境負荷低減の取り組み

- 敷地と建物の被覆対策
- 水循環
- 緑の量・質の確保、生態系への配慮